

# 広報 **心じ**

NO. 124

47. 11. 25 発行

発行・富士市役所

富士市永田61-1

編集・企画調整部広報課

【毎月5日と25日発行】



田植から稲刈りまで自分たちの手で（吉永第一小学校）

- ◇…アルミニウムの精練にともなつて排出されるフッ化水素ガス。人体への悪影響
- ◇…はもとより、植物に対する毒作用は成長障害などの被害も起します。市内では日本軽
- ◇…金属蒲原工場から排出されるフッ化水素ガスの影響が岩松地区に見られました。このため、県が昭和45年から、岩松農協や富士老人ホームなど4カ所でアルカリろ紙法に…◇  
よる濃度測定をはじめました。また市でも独自に昨年9月から岩松農協本所で自動記…◇  
録計による測定をはじめました。1年間の測定結果はつぎの通りです。 …◇

# 最高濃度は0.6PPb

## フッ化水素ガスの測定



大気中のフッ化水素ガスは、眼、歯ぐきなどに対し強い浸透性をもち、炎症性の痛みをおこします。しかし、大気中のフッ化水素が人体よりも大きな影響をあたえるのは、植物に対する毒作用です。たとえば、アヤマヤカラマツなどは1.5PPbで72時間の作用で萎縮、成長障害などの被害をおよぼす実験例があります

岩松地区の風向は、岩本山や岩淵山の影響を受け、特に海風は比較的近い内陸部のみと考えられ、強い南風は岩淵山の影響を受けながら西北西または北西に変化します。市内の気象観測資料や実験結果でも一番多い風向は南西の風とされており、岩松農協の測定結果でも西からの風が多く観測されています。したがって、岩松地区の自然環境は比較的市内の工場群からの大気汚染の影響は受けにくいと判断されます。

しかし、富士市における公害行政組織の発足時、昭和41年から45年ころまでにおける農作物や植物の被害からして、他の地域に見られない影響があつたものと思われま

す。なお、フッ化水素ガスの拡散は、比較的気象に左右されず、距離で減衰するといわれています。松岡、森島、宮下などの地域は、発生源と3線ラインと推定されるので、他の測定の参考から年平均0.3PPbの濃度があると考えられます。

※PPmは100万分の1。PPbは10億分の1。

### 年平均は0.1PPb 比較的低い濃度

岩松地区におけるフッ化水素ガス濃度の測定は、昨年9月から岩松農協の本所に、連続自動記録計を設置し、実態調査をはじめました。測定方法は、比較対象ができるように、富士川町や蒲原町、発生源の日本軽金属蒲原工場が行なっている方法で実施しました。

1年間の測定結果を見ると、今年の8月に時間別最高値で0.6PPbが測定され、単位時間では高濃度が出現しました。年平均では0.1PPbと比較的低い値を示していることは、全般的に減少の傾向にあることはいかええ

自動測定機によるフッ化水素測定結果 (単位PPb)

測定点		月	46年 9月	10月	11月	12月	47年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
岩松農協 (本所)	最大		0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.4	0.4	0.5	0.6	—
	最小		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
	平均		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1

他市町村の自動測定機によるフッ化水素測定結果

測定点		月	46年 9月	10月	11月	12月	47年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均
富士川町方面	富士川町小池		0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.4	0.3	0.2
	富士川第1小学校		0.2	0.3	0.1	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3
	富士川第2小学校		0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	—	—	—	—	—	/
	蒲原中学校		0.9	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	—	—	—	—	—	/
	蒲原上原町		0.3	0.2	0.1	0.3	0.3	0.1	0.2	—	—	—	—	—	/
由比町方面	蒲原町役場		0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	—	—	—	—	—	/
	〃 善福寺		0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	—	—	—	—	—	/
	由比町農協		0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	—	—	—	—	—	/

# まだ多い未処理汚水の排出

## 排水路の監視などの 4項目を重点に指導

田子の浦港におけるヘドロ公害は、昭和45年7月ころから全国に大きな反響を与えました。これを契機に関係法令が整備されたのをはじめ、公害問題に対する社会的関心は高まり、市民監視による効果もくわわつて各工場の公害対策は積極的になされました。この効果は各河川に歴然と表われてきました。

田子の浦港は、潤井川、沼川、和田川、岳南排水路などから流れ込む汚水によって汚染されています。流入水量の半分以上は紙パルプ工場から排出されるもので各河川の固有流量の2倍余りの汚れた水が流れ込んでいます。

## 対象工場の立入調査で 排水基準は守られる

市がこれまでに実施してきた対策を4項目を中心に、現状と対策について具体的に述べてみます。

### ■水域環境監視

水域環境調査は、昭和45年7月から各河川の定期調査を行なっています。これらの水系から田子の浦港に流入した浮遊物質が、どれくらい沈積しているか正確な調査が行なわれませんでした。電波探査などによる推定値として約120万トン推積しているものと思われ、現在まだ100万トン以上あるものと予測されます。

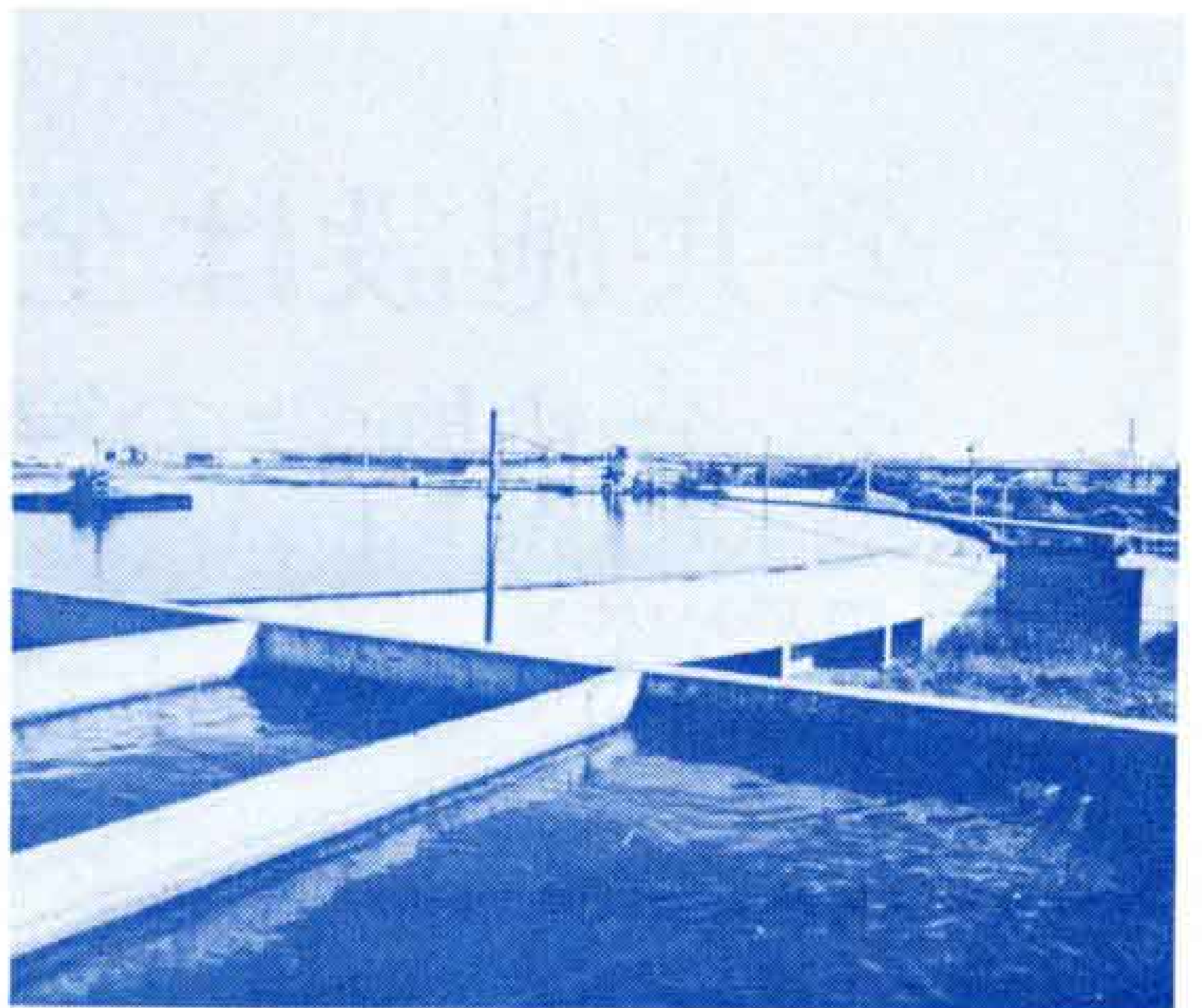


【田子の浦港にはまだ100万トン以上のヘドロが…】

汚染源となつているのは、約130の製紙工場で、特に問題となつているのは浮遊物質(SS)です。浮遊物質の量は、昭和45年時点からこれまでに約30%が減少しています。これは、今年の7月までに各工場排水処理施設を設置した効果によるものです。また、浮遊物質の処理に伴つて、水のムダ使いもなくなつており、汚水処理施設設置前に比べ約10%減少しています。

しかし、なんといつても田子の浦港は現状から考え、流入する水の浄化対策をたてない限り、環境基準を達成することはできません。そこで、水質汚濁防止法に基づく排水規制が適用されてからこれまで市で進めてきた対策は、①水域環境

調査。②岳南排水路の監視。③工場排水の監視(処理施設の管理、指導、立入検査)。④使用水量の削減の4項目が中心になつています。法に基づく環境監視、発生源監視の権限は県に委ねられていますが、これまでに市で進めてきた河川環境監視から未処理汚水の流出、あるいは浮遊物質の不法投棄などの違反が多いものと思われます。このため発生源監視の強化をはかり、特に夜間の立入調査を行ない違反解消に努めていきます。



【製紙工場には汚水処理施設が】

推積物は、潤井川の河口付近より沼川の河口付近が多くなつています。PHは表層で7PPm前後、1%以上で6.3PPmから6.4PPmと低く、沼川、岳排などの影響と思われます。

浮遊物質は満潮時が値が高く、深い層ほど逆流があり、沈澱池状態になつています。潤井川河口付近は大沢崩れの土砂で、堆積物は底におさえられています。

### ■岳南排水路の監視

工場排水のチェックを効率化するため

岳南排水路の管路別監視は、重要な対策となつています。将来は自動記録計による常時監視を進める必要があります。9月7日と8日の2日間に行なつた通日調査(24時間観測)は、明らかに全国一律排水基準をうわまわつていました。このため、対象工場の立入調査の回数をふやし、指導を行なつた結果、全国一律排水基準が守られ、成果をあげています。

### ■工場排水の監視

水質汚濁防止法に該当する工場のうち製紙工場は130で、特定施設数は漂白施設、抄紙施設など977あります。立入検査は、県と共同で届出施設の確認、排出水の水質検査を行ないました。基準違反工場や違反のおそれがある工場に対しては、改善命令などの措置をとりました。

### ■使用水量の削減

田子の浦港周辺の汚れを解消させるためには、堆積物の除去と流入量の削減計画が重要な課題となつています。そこで生產品種別に必要水量を算定し、使用水量の多い工場に対しては、削減計画を要請しています。

今年度から市政の最重点の中に緑化推進をかかげ、緑を「守る」「創る」「育てる」の諸施策を進めています。この一環として、まず公共施設の緑化の現状を総点検し、今後の良好な環境計画をつくる基礎資料にするため、さきごろ、「公共施設緑のスペース調査」を行ないました。この調査結果がまとまりましたのでお知らせいたします。



【吉原商業など学校には相当の緑が…】

# 公共施設は全体に“緑”が不足

## …公共施設の緑のスペース調査…

### 南中、田子小などの緑化は充実

公共施設の緑化がどの程度か総点検するために、主要広場面積、緑地面積、樹木数など15項目を調査しました。調査対象となつたのは、市立または市が運営に参加している110施設です。

全施設の敷地総面積は936,372平方メートル、総建物面積145,842平方メートル、主要広場面積は432,926平方メートルです。この調査の目的である緑化スペースは、花壇面積7,475平方メートル、造園面積61,997平方メートルでありこれに今後緑化が可能な面積17,310平方メートルの実態をつかむことができました。また、学校、幼稚園、水源地にはかなりの緑地もありますが、保育園、公民館、消防分署、児童遊園地は緑地が少なく、なかでも消防分署には、緑化スペースが全

くありませんでした。

樹木の総本数は24,160本で、常緑樹19,035本、落葉樹5,125本です。このうち25以上の樹木は10,142本で、植栽本数の多かつたものを見ると常緑樹では松1583本、ヒマラヤシダー1,238本、ヒノキ514本、かいずかいふき473本などで、市の木に選定されているくすの木は107本でした。落葉樹ではさくら954本、ポプラ650本、プラタナス333本、いちよう288本となつています。

樹木の多い施設は吉原商業<sup>1</sup>、富士第1小、元吉原小、鷹岡中学校、富士南中、吉原第3中で、一方、港分署、吉永分署には1本の樹木もありませんでした。なお、全施設のうち富士南中、田子浦小は最も緑化が充実していました。

また、樹木の保護管理とあわせて、とかく施設周辺の市民から苦情の多い砂じん公害の元凶となつている広場(運動場)は、芝生などを数施設で張り、試験的に

行なつている程度にとどまっています。

この調査を通じてまずいえることは、緑の面積が多い施設と少ない施設があまりにも極端に差があり、特に最近建設された施設は、用地確保の問題もありますが、あまり緑地のスペースの配慮がなされていませんでした。天間幼稚園、広見小学校、岩松保育園、吉永分署などがそれらを代表しています。

今後の緑化を進めるにあたって、各施設から申し出のあつた樹木の必要本数は3900本、広場への芝生の植込み面積は7,275平方メートルでした。しかし現地調査から考えると必ずしも多いとはいえ、さらに周辺の環境が悪化しているところはかつての“鎮守の森”を再現するような思いきつた緑化を進めなくてはなりません

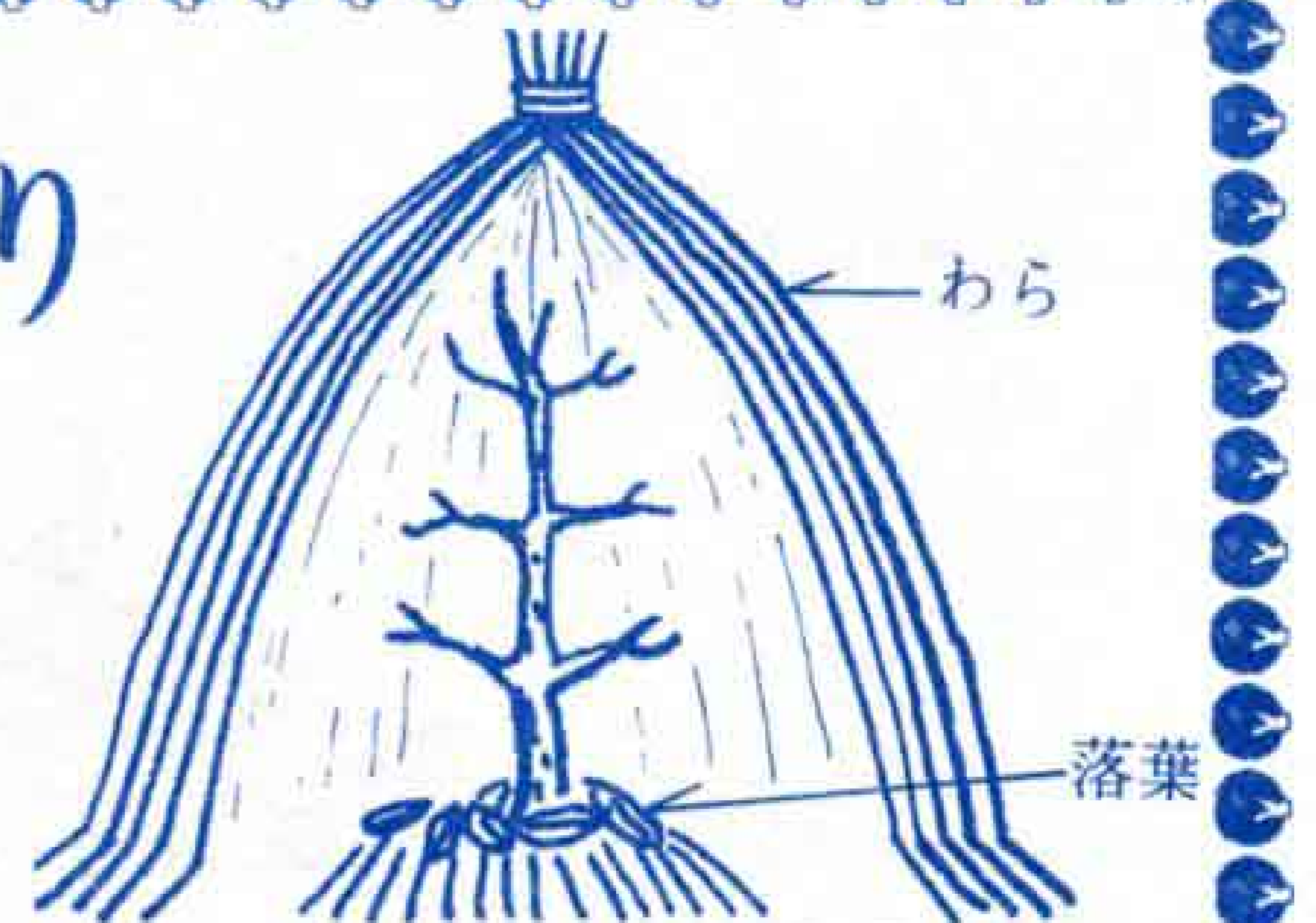
この調査書をもとに、市では48年度以降、施設の植樹、芝生の植込みなどに多額の予算をつぎこむことはもとより、みなさんの協力を得ながら緑化を進めます

### 緑と花のコナ

## わらボッチづくり

小さな苗木には細竹を3本立て、まわりをわらでかこんで、上をまとめてしばります。腹の辺にひと回り割竹でめぐらすとガッチリします。

上からすつぽりわらボッチをかぶせて要所要所をなわで結び、南側はあけておきます。木の回りには落ち葉をたつぷりかけてやりましょう。



# 鷹岡分署が完成

## 鷹岡地区の消防力が大幅にアップ

消防署鷹岡分署が大月線沿いに完成し11月25日から仕事を始めました。これで市内の守りは、消防署をはじめ富士分署、港分署、吉永分署、鷹岡分署と24の消防団で行なうことになり、市内の消防力が一段と充実しました。

これまで鷹岡地区で火災が発生すると消防署や富士分署などから消防車がかけつけ消火に当たっていました。しかし、大月線や富鷹線などは交通の混雑がはげしく、火災現場へ到着するまでに、時間がかかるようになりました。このため鷹岡地区に分署をつくる計画を立て、今年の

6月から工事をはじめましたが、このほど完成し11月25日開所式を行ないました。

鷹岡分署は鉄筋コンクリート造り2階建てで、総工費2270万円をかけて建設しました。1階は183.75平方メートルで、車庫、通信室、待機室など。2階は116.76平方メートルで、事務室、仮眠室があります。

25日からは分署長以下14名の職員で、仕事を始めましたが、水そう付消防ポンプ車1台が配置されています。なお、



将来は2台の消防車と救急車を配置してもいいように十分なスペースを取っています。



【51項目の問診と血圧測定などを実施】

## 市医療救済条例の改正を12月定例会に提案

市では昨年の2月から大気汚染の影響によつて、慢性気管支ぜんそくにかかった小学生以下の児童に医療費を支給しています。さらに今年の2月からは、国の医療救済制度が適用され、指定地域内に住んでいるおとなも医療費が支給されるようになりました。

しかし、高煙突化などで大気汚染地域が拡大するおそれもあり、また指定地域外の市民から救済制度実施の要望も出ていました。このため、国の指定地域外に住んでいる人を対象に健康調査を行ないました。

調査は千葉大学医学部公衆衛生学教室（吉田亮教授）で、地域外に3年以上住んでいる40才以上の男女で600人を無作為抽出し、7月18日か

ら26会場で行ないました。調査項目は「セキ、タンは出るか」「息切れはするか」など51項目にわたる問診と血圧測定、肺活量などです。

調査結果を先に行なつた指定地域内の有症率と比較してみると、半分程度でした。しかし、鷹岡地区がほかの地域に比べやや有症率が高いように見受けられます。また指定地域に近接する場所では、有症率も高いと思われますので、よりきめの細かい調査を実施する予定です。

なお、この調査結果を検討した結果、市では社会福祉的な立場から指定地域外も国の医療救済なみの救済を実施することになり、市医療救済条例の改正を12月定例市議会に提案します。

件数 222件  
(9月までに1844件)  
死者 3人  
(9月までに24人)  
負傷者 113人  
(9月までに1017人)

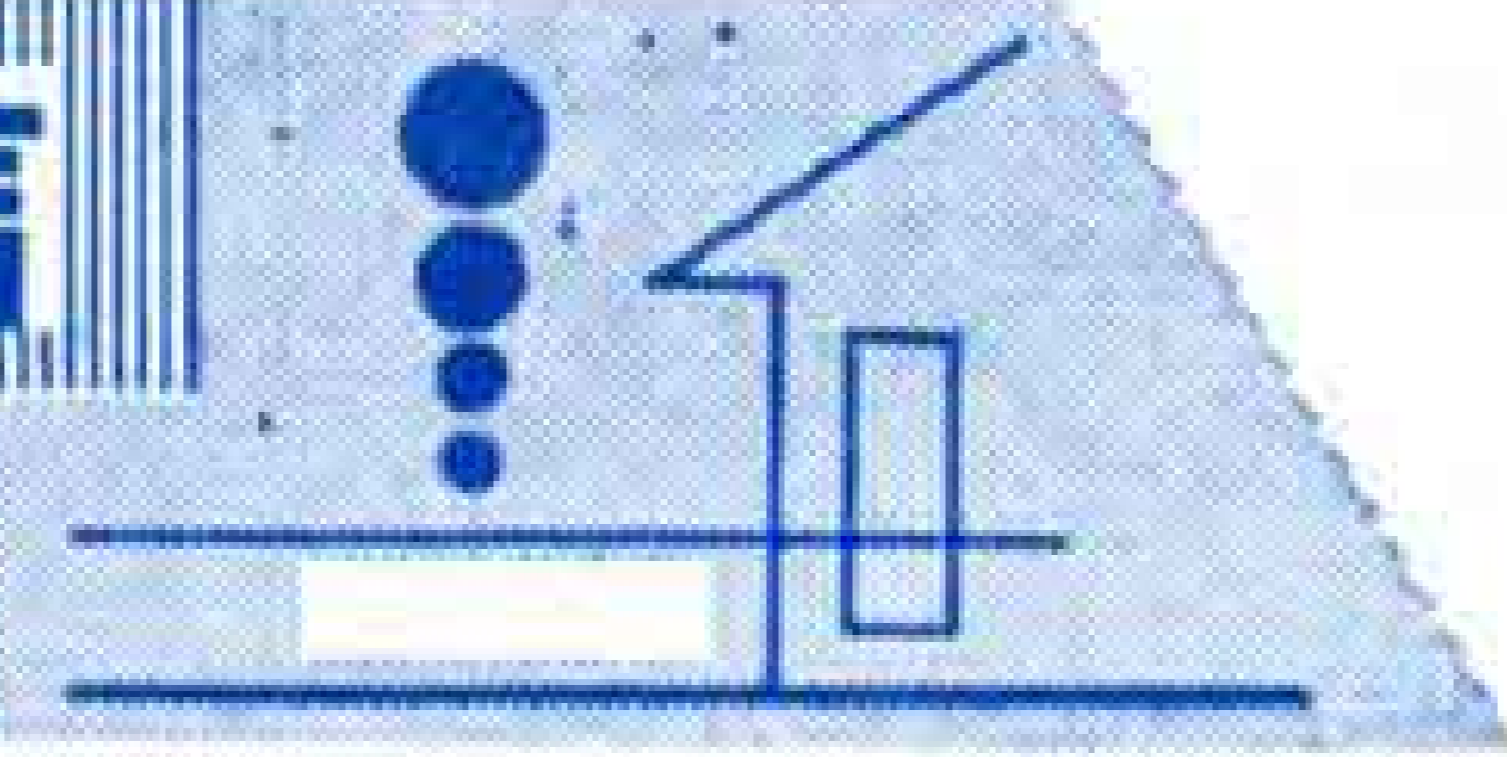


### 十月の 火災 交通 事故 件数



9件発生  
(9月までに61件)  
損害額 1196万円  
(9月までに6257万円)  
死者 1 傷者 1  
(9月までに死者2人  
負傷者7人)

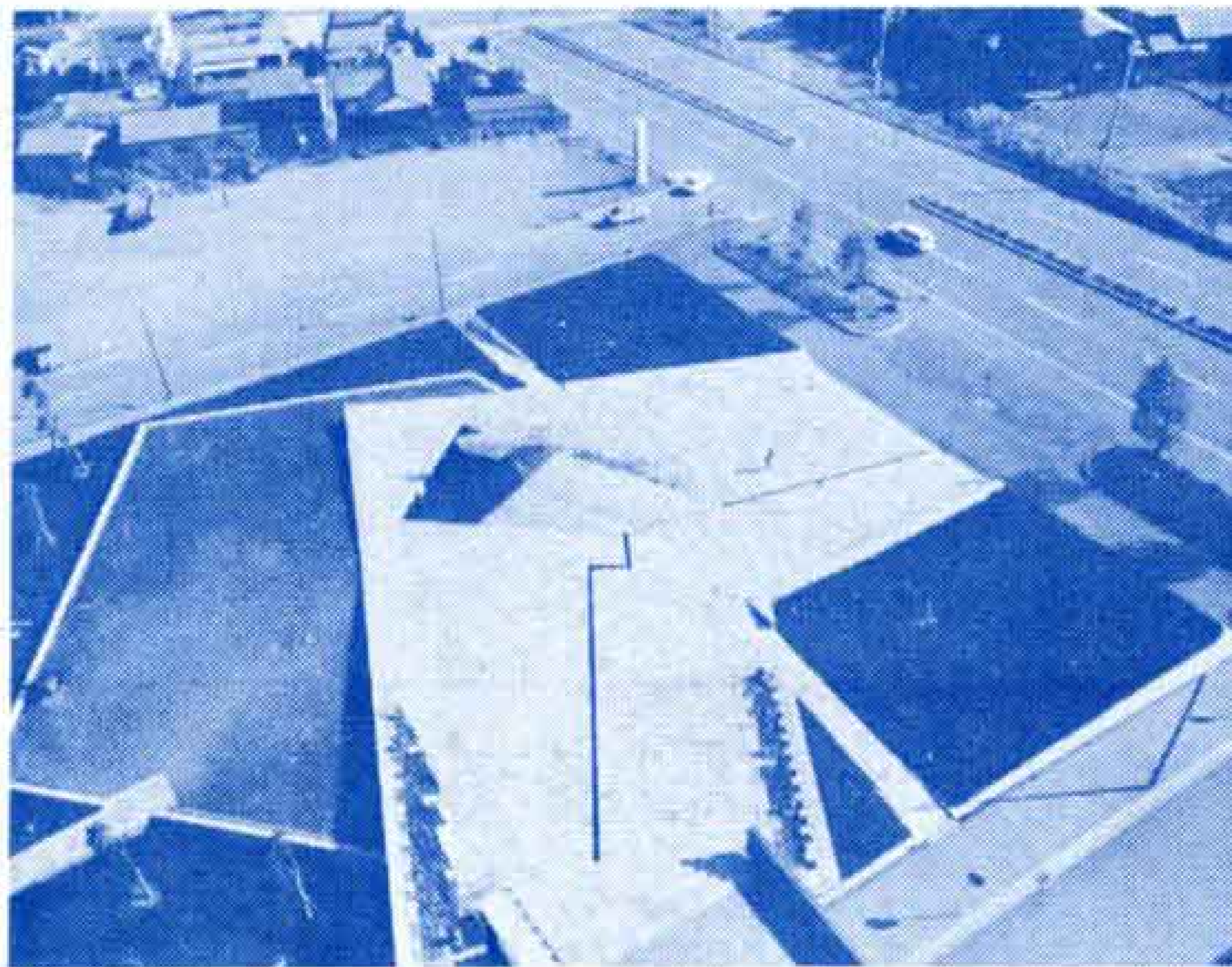
# 市政モニター提言



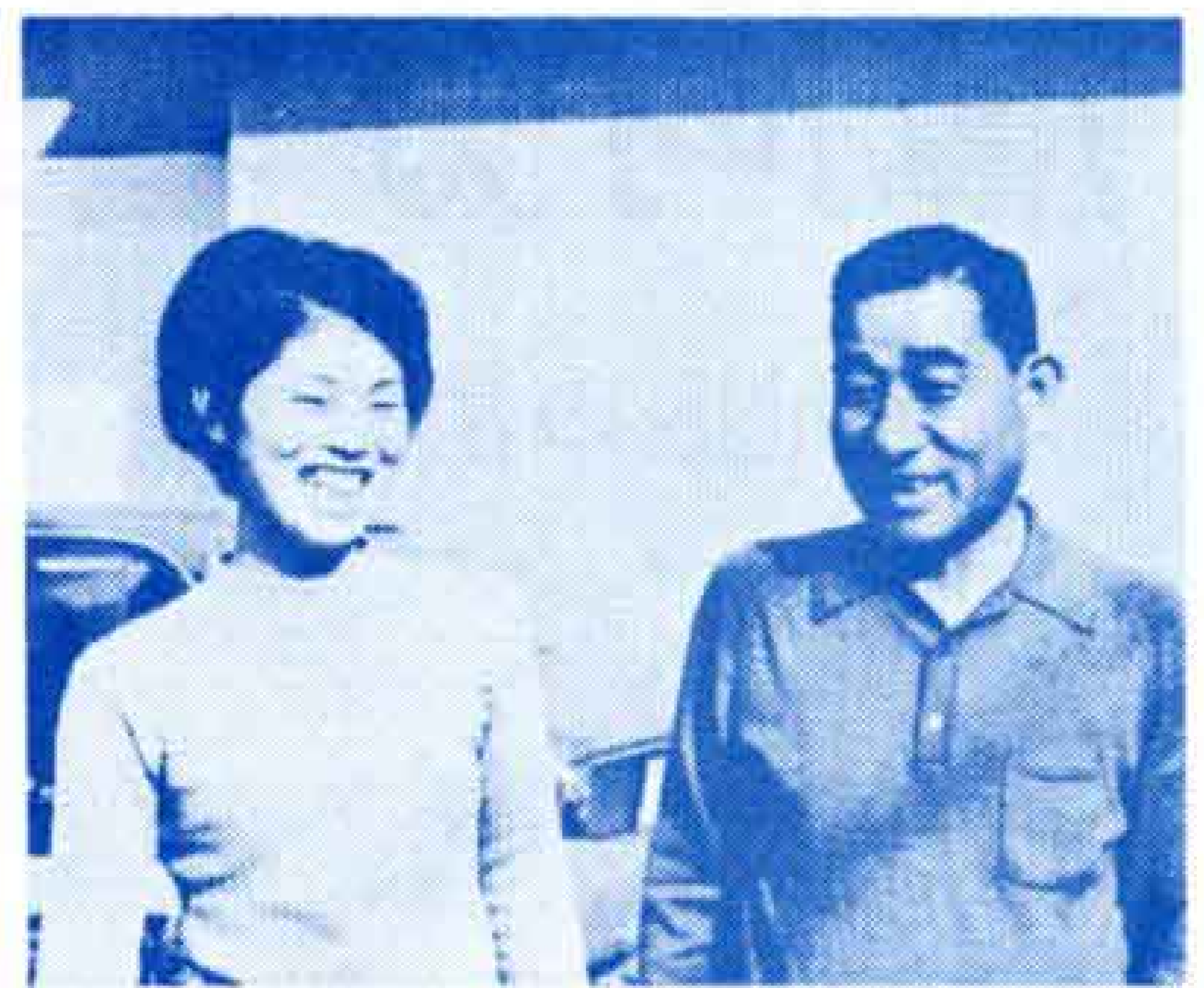
## 市役所周辺の緑化対策を

富士市も緑の課が新設されて、緑化事業が進められ、成果があがっているように思います。ところが、富士市のシンボル、庁舎そのものの周辺はどうでしょうか……。

これは私の意見ですが正面の東側はベツタリ石との重みばかり感じられます北側は騒然とクルマクルマ、クルマ。コマージュナルソングではありませんが、コンクリートジャングルへ変身しつつあるようで心配なことでせめて、あのおびただし自動車をもろ少し立体的に処理し、緑のスペースを取つて、どうどう



とした庁舎にふさわしい植樹をしたら、如何かなものでしょう。南側や西側にはちよつぱり緑のニオイが感じられます。  
(竹内幸子・厚原中)



### 杉山・北島さんに 消防協力者表彰

宮島に住む杉山洋子さんと北島茂さんに、11月24日、市消防本部は消防協力者消防長表彰を行ないました。2人は10月28日午前10時40分ころ、近所で火災が発生したのを発見し家の中にいた人を助け出すとともに、消火を行なうなど人命救助に適切な措置を行ない、火災の延焼防止に当りました。

## ひとこと

### うれしかった汲取人の親切

私たちの最も怖いものに衛生舎の汲取り人があります。ものがものだけに。どんなに威張られても平身低頭…。そんな時、大変うれしいことがありました。さきごろの汲取日のことでした。2階

のトイレがつまって使用しないでしたところ、その汲取人が2階から身体を半分以上もトイレに入れ、掃除してくれました。別にたのんだわけでもないのに…。  
いつぱいつまっていたスリツパや石などに驚きましたが、私はその人の親切がうれしくてなりません。そこで料金のほかに御礼を渡したところ「よろこんでいただければそれで良いです。少しでも人のためになれば…」といわれました。  
そんな身近かなところにも奉仕の場があるということを、教えられた思いがし

ました。それからは、私も少しでも人のためになることをと、考え、行動するようになっています。  
市のことを言えば、良い吏員もいるけれど、なかには威張っている吏員もいるようです。職員が多ければいろいろな人がいると思いますが……。しかし、このごろの富士市は楽しいことが多い。過日のような植木市はもつとやつてほしいと思いますし、川に魚を放すことなどもさわやかに感じられます。こうした市政をいつまでも続けてください。  
(和田町・主婦)

## 当直医院

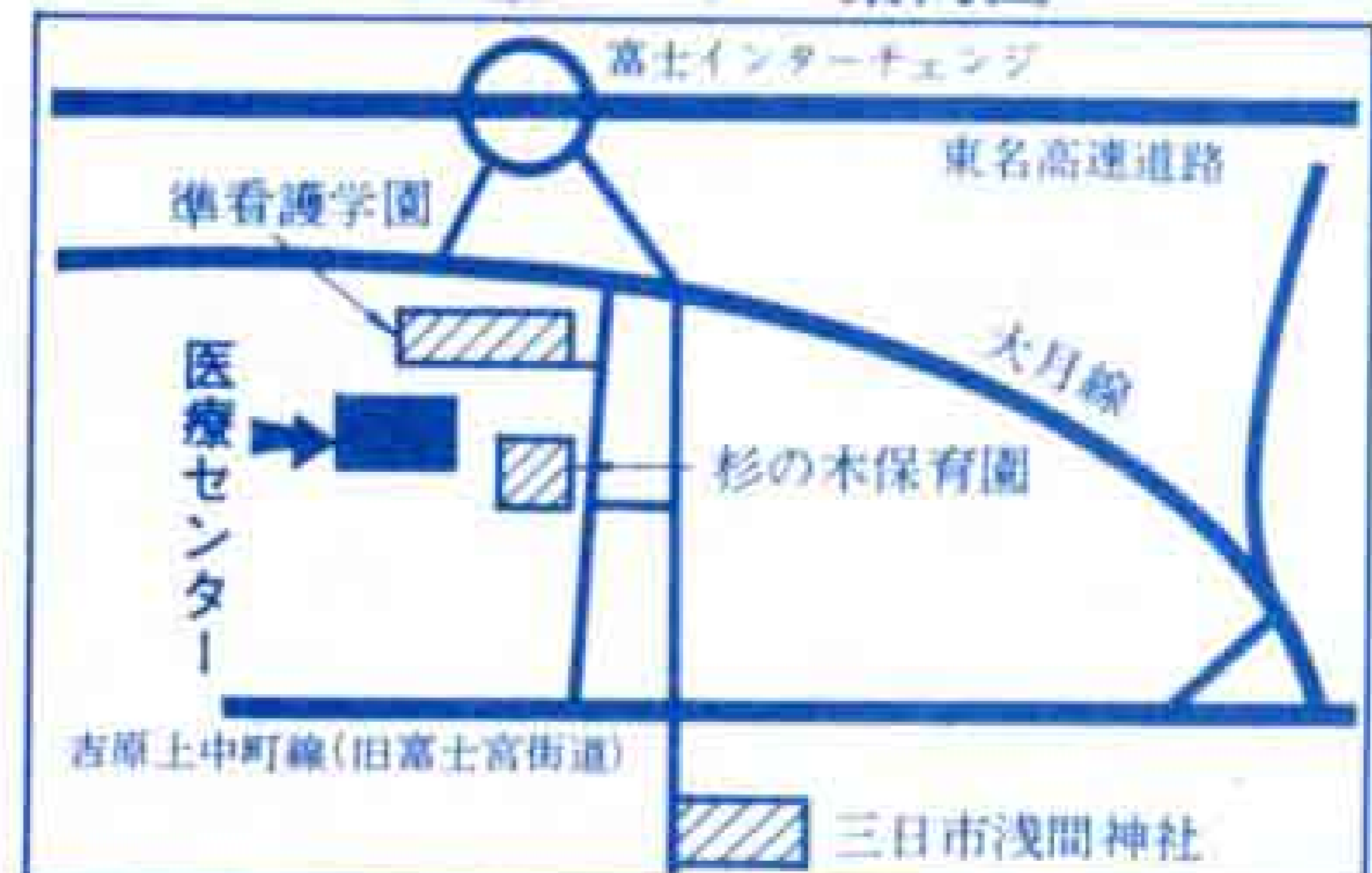
休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。急病のときにご利用ください。

- 12月3日
  - 外科 米山病院(吉原4 52-3060)
  - 戸田医院(横割1 61-2026)
  - 産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)
- 12月10日
  - 外科 渡辺病院(錦町 51-3751)
  - 山崎医院(厚原 71-3315)

- 産婦人科 山下医院(西国窪52-0611)
- 12月17日
  - 外科 中央病院(本市場 61-8800)
  - 石川医院(瓜島 52-1985)
  - 産婦人科 池谷医院(水戸島61-0873)
- 12月24日
  - 外科 吉原病院(南町 52-0780)
  - 田辺医院(本市場 61-8410)
  - 産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)
- 12月31日
  - 外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
  - 松本医院(久沢東 71-2570)
  - 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

※内科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町) 電52-3104」



■通学路にサツキを

鷹岡小学校と中学校の通学路に、地域の人の協力でサツキ100本を植えました。【写真右下】

■吉原本町通りにフラワーポットを

菊の花をいっぱい植えた円筒形のフラワーポット12個を、商店街青年部の協力で吉原本町通りに設置しました。これまでの長方形のポットよりスマートで、町の中が一段と花やかになりました。なお、富士、鷹岡の商店街にも同じポットを設置します。【写真右上】

■公園や町内の花壇に水仙を

南町や岩本山など7カ所の公園と町内の花壇に、水仙の球根を植え付けました。植え付けには、みどりと花の百科展参加団体や花の会の人たちの奉仕で行ないました。なお、水仙の球根は稲葉森信さん（傘木）から贈られたものです。【写真上】

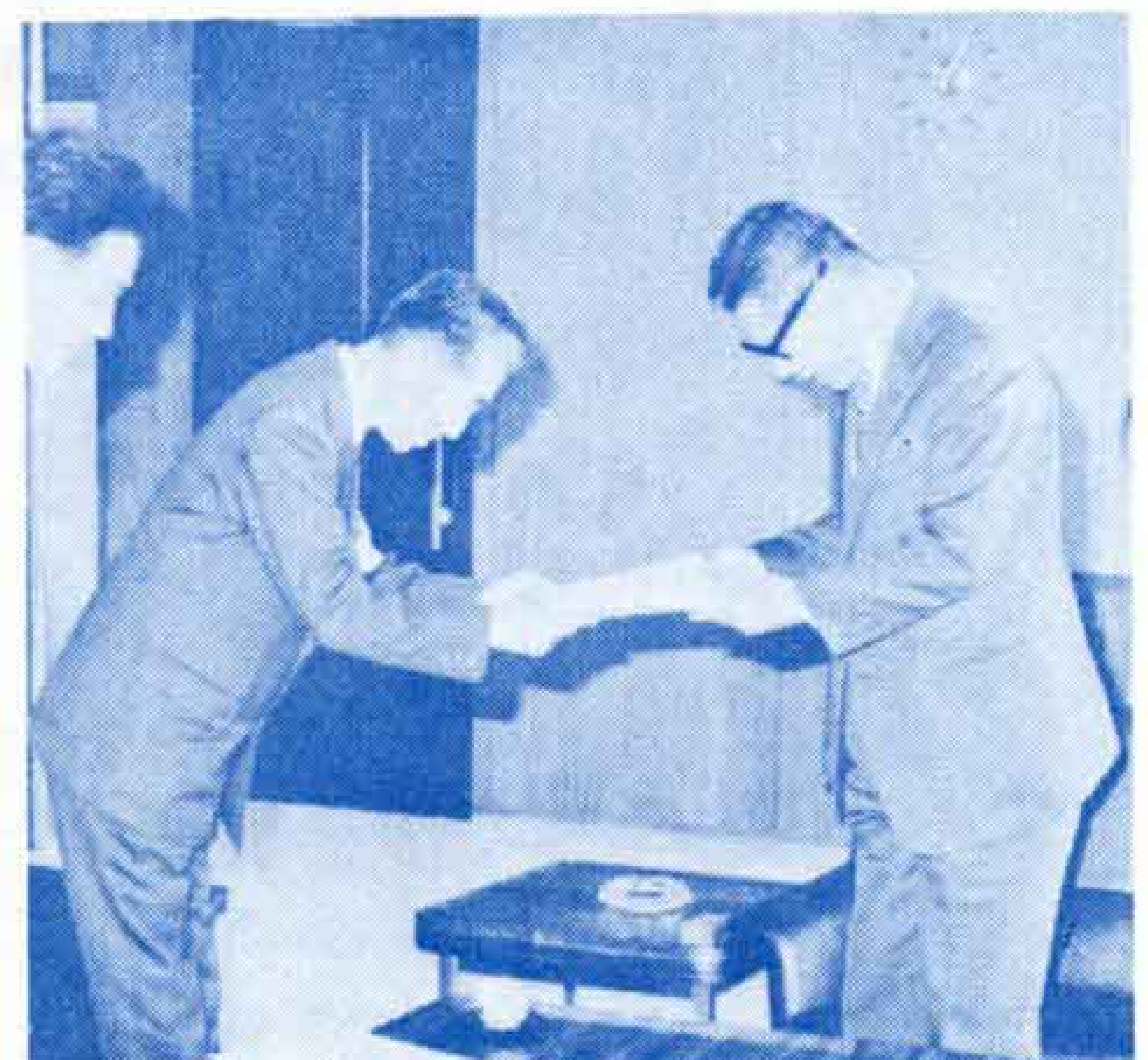


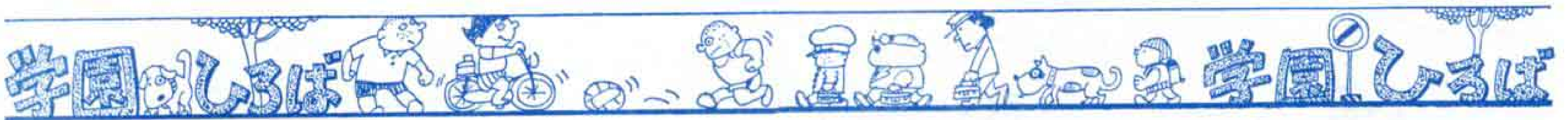
■SLや人気タレントのポスターを展示

最近町の中にはいろいろなポスターが掲示されていますが、なかには風紀上目にあまるものもあちこちに見られます。そこで、ポスターのよさを見直してもらおうと、富士文化センターで11月16日から18日まで総合ポスター展を行ないました。観光やSL、人気タレント、自動車などのポスター163点が展示されました。なお、会場でアンケートに答えてくれた人の中から佐野律子さん（水戸島）ほか130名に展示したポスターを贈りました。

■防犯灯などの寄贈が

東京電力株式会社沼津支店から、モデル防犯灯50個、自動点滅器160個が、このほど市へ寄贈されました。市はさつそく、街を明るくし、犯罪の発生を防止するために設置します。【写真は目録を受け取る渡辺市長】





### 吉原3中が優勝 —中体連駅伝大会—

中体連駅伝大会を11月10日、田子浦海岸堤防で行ないました。大淵中、富士中など10校が参加し10区間のコース(1区間4.4km)で健脚を競い合いました。記録は雨が降っていたのであまりよくありませんでしたが、吉原第3中学が2時間27分9秒で優勝しました。なお、区間最高は清水敏行君(3中)の13分57秒でした。



### 富士川河原で「飯ごうすいさん」

—南中の全校生徒633人が—

富士南中学校では、秋の遠足のかわりに、全校生徒(633人)が富士川河原で「飯ごうすいさん」をさきごろ行ないました。4~5人のグループで料理をつくりましたが、河原には130余りのカマドができあがり、男子は御飯たき、女子はスキヤキやサラダなどおかず

づくりにいつしようけんめい。まわりは、いいにおいがいつぱい、みんなの手作りとあつてすこしかたい御飯もなんのその一。食事をしてからは、クラスごとにゲームやバレーボールなど軽い運動、自然を満喫し1日を楽しくすごしていました。

### 田子小でサイエンスカー教室

田子小の6年生は、11月15日サイエンスカー教室を行ないました。これは県児童会館が今年の10月からはじめたもので、動く科学館と呼ばれ、理科の実験道具を自動車に積んで、県内の小学校や少年団体を対象に回っているも

のです。田子小では、強力磁石や大型レンズ、双眼実体顕微鏡などを使つて勉強しました。

【写真は強力磁石を使つて、発電機の原理などを勉強する6年2組の生徒たち】



### 富士市の面積は…

工場や住宅、商店、畑などが集まつて大きな都市が生まれる。富士市も昔は13の町や村にわかれていたんだけど、だんだん一緒になつて、41年11月1日に、いまのようになつたんだ。面積も静岡県で8番目に大きくなり、ちょうど清水市と同じくらいになつたよ。東西の長さは18km、南北の長さ27.5km、周囲105km、面積は215.34平方kmもあるんだ。だけど、人の住んでいるところは面積の10分の1しかなく、あとは山林、畑、田んぼなんかが多いんだ。なかでも山林が一番大きく富士市の面積の3分の1以上をしめているんだ。ところで、富士市にはいま192,345人の人が住んでいるけど、なかでも一番多く住んでいるところは広見町で、商店が集まっている富士駅付近や吉原本町付近も多いんだ。

